赤水
前篇

楠　勝平
プロ・ぺんだこ

ソレー

戦争も敗影濃くなったころのことである。

カッカッカッカカカ
ハァハァ
それ！もうすこしだ

カッ
カッ
カッ
カカカカ

がんばれ！！
もう一息だ！
ハア
ハア

ハア
ハア
ハア
ハア

ハァ
ハァ
ハァ
ハァ

ブルル
ブルル

ハァ
ハァ

ハッ
ハァ
ハァ
ハァ

チッ
もうすこしのところでだらしのない奴だ
ハァ
ハァ

見そこなったようだ

そんな腰抜けにこの
ミカジリの背が貸せるか

いちど
だけ

たった
いちど
だけで
いいんだ

きさまの
ような奴は
くずだ
御国の
恥だ！
……
……

くそ
どいつもこいつも!

実!

実はどうしたや

実(じつ)
実!

朝草を
刈りに行った
に
あのバカ
タレが…

大背籠の朝草
ぐれえを刈るの
に
なにをまご
まごしてい
るだ

きのうも
お天とうさまが
顔をだしてから
のこのこ戻りやがって

兄ちゃん

いさおか
どうしたんやその傷また勝利にでもなぐられたか

いんや俺がわりいだ八幡さまの石段で今日もへたばっただ

で、今日は馬に乗せてくれたか

くそあの奴なにを年下の者を相手に威張っていやがる

でもいいだあしたはきっと一気に駈けのぼってみせるだ
よせばかやろうみっともねえ

あいつ
どついて
やらねえと
わからねえ
ようだな

兄ちゃん
てめえも
てめえだ
しみ
った
れた根性に
なりさがる
な

何を怒って
いるだ
兄ちゃん
だけ検査に
合格しなかった
んで

それでか

ばかやろう

そんなに
馬に
乗って
みてえか

兄ちゃん

どう
したん
高梨の
姉ちゃん
なに
している

イエーーーッ
タァーー
勝利！
よろこべ
いましがた
おまえ宛に
召集令状が
届いたぞ

ついにきましたか
いよいよお前もこの猪熊家にふさわしく

軍人としてご国につくす栄を賜わったわけじゃ
はい

このうえは日露戦争で戦功のあった菊蔵中尉

すなわちお前の祖父をはじめ三代にわたった十二人の
戦士の栄誉に恥じぬよう立派に勤めを果たすよう

・

必らず

これは
わしと
おまえの
兄の使った
ものじゃ
はい
ありがとうございます
出征まで
間がない
それまでに
用意を
尽くして
おくよう
それに今日は
内輪だけの祝いじゃ
存分に呑んでよい
ほどなく
高梨の娘ごも
来るはずじゃ
エッ

高梨の……

は、はい

おまえやったな今朝のあれでか

だけどあのオキナワはわりとうまかったの山の畑のじゃろか

たぶんな乾燥イモにして供出するやつだ

南瓜の葉はくえねえなあんなごそごそしたやつ
まったくさぐれたもんばっかり食ってちゃ体もほきやしねエ

オッ

のってみてえな

いいかげんにしねえか

たった五尺ほど高えくれえのこんで
その五尺の差が

ほら

山が見えるでねえか
山羊が見え灰をまいている人が見え

川を渡る人が見えるでねえか
いままで見えなかったものがみんな見えるでねえか

ああ馬が欲しいな

勇ましく濶歩してみてえな

もう二寸ほどあれば…この俺だって
ぱかぱか

ええついいましがたまで……

たしかに中二階にいたんだけどねえ

でもきっとさがねてすぐにおくりますから

そうして
くだされ
よ
へえ
勝利さんの
出征が決まったと
なればあの娘の
体はあずかり
ものになったわけ
ですから

それから
今夜は
うちに
泊まって
貰います
からね

よろしく
お頼み
申します

カッ
カッ
カカカカカカカ
カカカ

誰だ
あれは
勝利さんで
ねェか

あいつか……
赤紙がきたんだそうじゃ

それも急なことであすの出征なそうじゃ

へーエ兵隊に出るんか

高梨のレイ知らんか
知らん

知らねえな人の番を頼まれたおぼえもねえしな

くそどいつもこいつも
非国民が……
カットシ！

何か
用か
きさま

そこには
馬鈴薯が
植えて
あるんだ

フン
それは
悪かっ
たな
無神経
な奴だ

だが
きさまが
腹を立て
るのは
その
せいじゃ
あるまい
なにっ

一億一心
みんな御国の
ために戦って
いるとき……
検査が通ら
なくて
出征できない
そのためじゃろ

きさまこそ
学校の成績
でもなんでも
俺の尻を
のこのこ
追いかけ
てきた
くせに
こんどのことで
俺の鼻を
あかせると
でも
思ってやがる
んだろ
しみった
れめ
くそ！
ツヤー

なに
まだ
見つから
ぬと
たわけ
息子の出征は
迫っている
のじゃ
足入れもせず
息子にもしもの
ことがあれば
困るのは
そっちの
ほうじゃろ
は、
はい
さが
すのじゃ
ワ
猪熊
がんばって
くれ
俺も
すぐ行く
………

おれの盃をとれ
次は俺のだ
こっちもだ

貴様は運の良い奴だわれわれに先んじて
御国のために戦うチャンスを摑むとはな
まったく

自国の命運は貴様が肩に
いやわれらが肩にかかっておる
そうだ

ありがとう

大日本帝国のために
乾杯！

ゲッ

ウム

チッ だらしのない奴だ
大丈夫か

放っとけ！

庭にでも連れ出しておけ

ゲボッ
ゲゲゲ

くそっ

誓って国を出…♪
ウイ〜

オわ〜

ゲボッ
ボボ
ゲッ